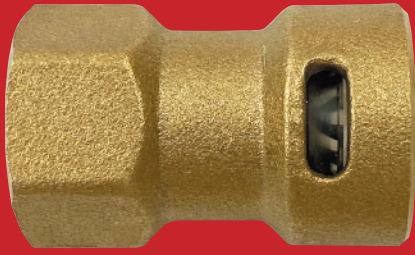


冷媒用ワンタッチ継手

SB1



SOCKET

ワンタッチ

火気無し

工具無し



UNION

冷媒用銅管をワンタッチで接続! 冷媒配管の新時代へ



特長

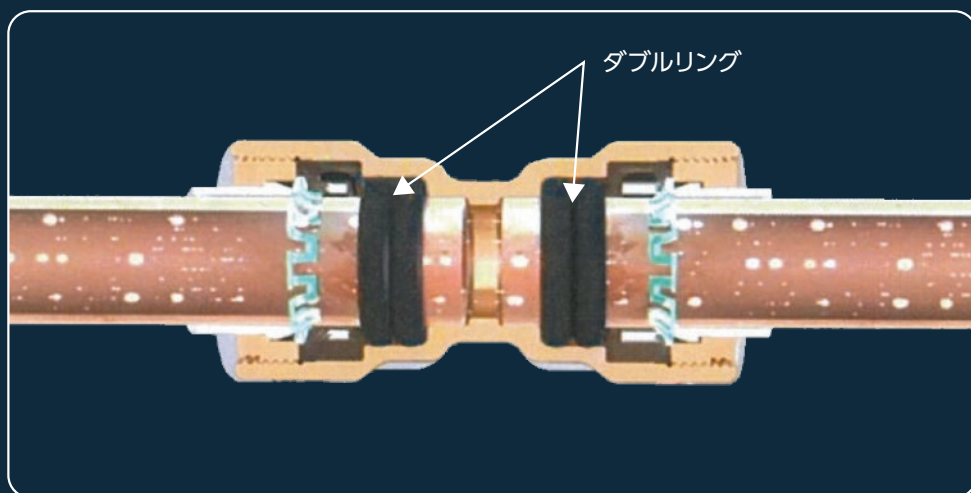
- ① ワンタッチだから締付け工具不要
- ② ワンタッチだから施工時間を短縮
- ③ ワンタッチだからフレア加工不要
- ④ 専用工具で取り外し可能
- ⑤ 漏れを防ぐダブルリング機構



火気無し



工具無し



施工前

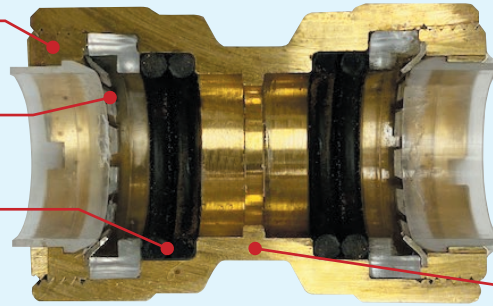
エンドキャップ (材質: C3604BD)

グリップリング (材質: ステンレス)

銅管に食い込み抜けない

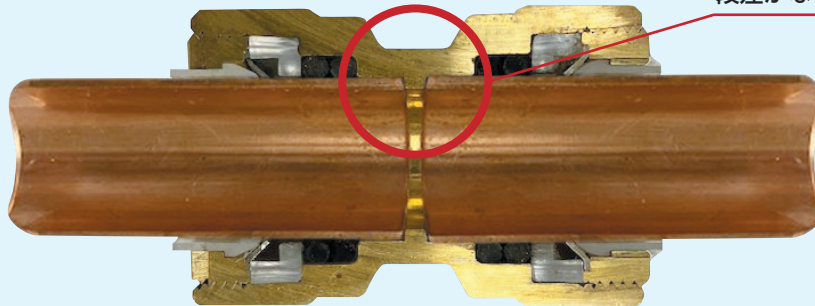
Oリング (材質: CR)

ダブルシール



本体 (材質: C3771BE)

施工後



段差がなく流体の抵抗にならない

施工時間比較

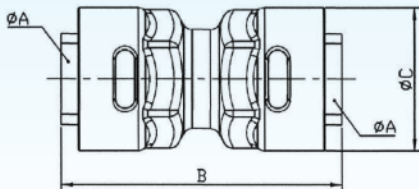
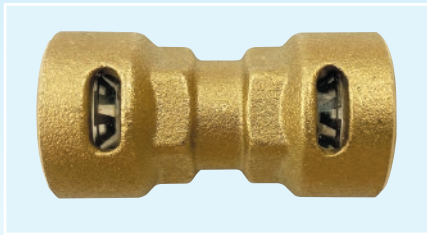
ろう付接続を行う従来工法と比較して、施工時間を40%以上短縮! ※当社調べ
(ろう付は準備等付帯作業を含めた時間となります)



**40%以上
短縮**

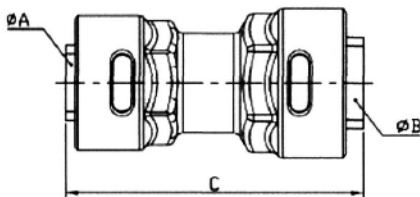
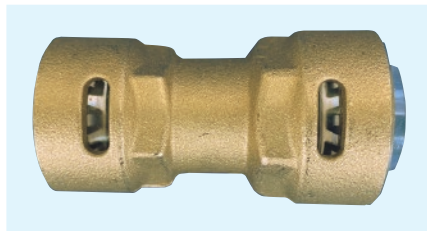
ラインナップ

ユニオン



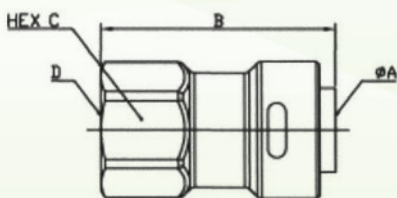
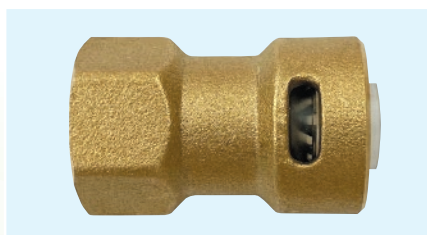
型番	寸法 (mm)			標準価格
	φA	B	φC	
SB1C 1/4	6.35	48	20	オープン
SB1C 3/8	9.52	50	24	オープン
SB1C 1/2	12.70	54	27	オープン
SB1C 5/8	15.88	57	30	オープン
SB1C 3/4	19.05	65.5	37	オープン
SB1C 7/8	22.22	66.5	40	オープン

異径ユニオン



型番	寸法 (mm)			標準価格
	φA	φB	C	
SB1RC 1/4 X 3/8	6.35	9.52	50	オープン
SB1RC 3/8 X 1/2	9.52	12.70	55	オープン
SB1RC 1/2 X 5/8	12.70	15.88	60	オープン

フレアソケット



型番	寸法 (mm)				標準価格
	φA	B	HEX C	D	
SB1S 1/4	6.35	38.5	17	7/16-20 UNF	オープン
SB1S 3/8	9.52	41.5	22	5/8-18 UNF	オープン
SB1S 1/2	12.70	46.5	24	3/4-16 UNF	オープン
SB1S 5/8	15.88	53	27	7/8-14 UNF	オープン

アクセサリ



ディスクネクト・クリップ

サイズ: 1/4"、3/8"、1/2"、5/8"、3/4"、7/8"



ラインマーカー

サイズ: 1/4"、3/8"、1/2"、5/8"

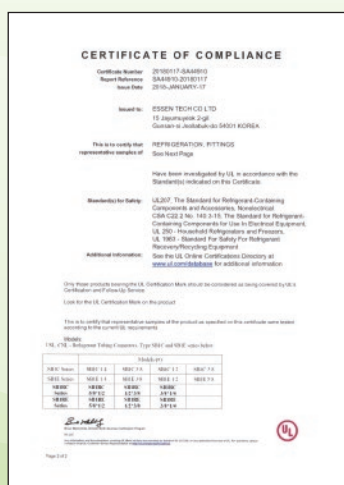
適応範囲

冷媒	R32・R410A・R407C・R404A・R22
最高圧力	4.3MPa
温度	-35℃~120℃
管	JIS H 3300 C 1220T

サイズ	6.35~22.22
肉厚	0.8~1.2mm
質別	O・1/2H
形状	コイル・直管

性能試験・UL規格認定

試験種類	試験方法	試験結果
気密試験	4.2Mpaの圧力を1分加える	問題なし
耐圧試験	配管を接続し、水圧を1分間加える 高圧 21Mpa 低圧 12Mpa	問題なし
疲労試験	①7.0Mpaの圧力を1分間加える ②3.1Mpaと0.9Mpa (0.1秒間以上持続) の各圧力を25万サイクル繰り返す ③6.0Mpaの圧力を1分間加える	問題なし
腐食試験	霧スプレー 2時間→乾燥 2時間→水に濡らす 2時間 72時間：錆無し 330時間：漏れ・腐食無し	問題なし
加熱・冷却 サイクル試験	加熱冷却サイクルチャンバーにSB1を接続 テスト温度 (1サイクル)：-35℃ 1時間・120℃ 1時間 テスト圧力：4.2Mpa 40サイクル繰り返す	問題なし



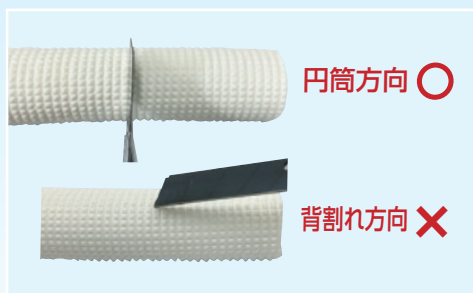
UL規格について

UL規格はアメリカ保険業者安全試験所が策定する製品安全規格で、材料・装置・部品などから製品に至るまでの機能や安全性に関する標準化を目的としています。

UL規格に合格した製品の安全性は米国内で高く評価されており、保険業者や連邦・州政府や行政機関などは承認または調達にULの認定が必須となっています。また世界的な安全基準としての立ち位置が強く、各国の独自基準に比較的左右されずに適用されるという強みを持っています。

SB1 ワンタッチ継手施工手順

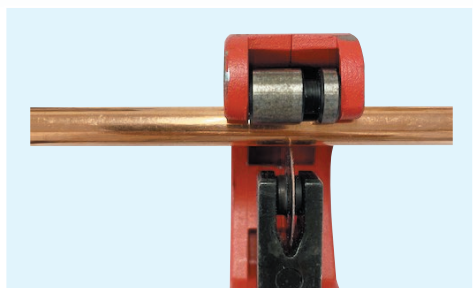
① 保温材の切除



保温材切り取り長さを設定し、管に傷がつかないように注意し保温材を切除してください。

※カッターナイフでの背割れ方向の切り取りは、縦傷による漏れの原因になるため禁止です。

② 管の切断



チューブカッターを使用して直角に銅管を切断してください。

※変形防止のため、徐々に切り込んでください。

③ 管の面取り



内面のカエリを除去してください。

その際切り屑が管内に残らないように注意してください。外面取りは肉厚の半分程度を目安とし行ってください。

※面取りが小さいとシール部分 (Oリング) を傷つけ漏れの原因になる可能性があります。

④ 管のマーキング

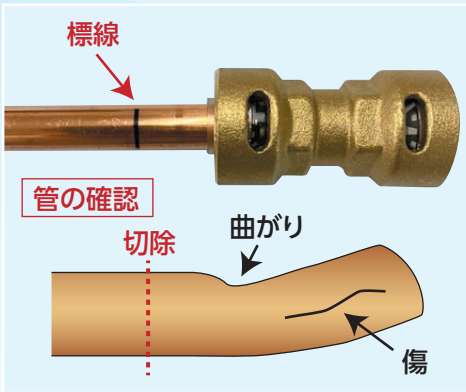


ラインマーカを使用し、標線をマーキングしてください。

配管径	1/4	3/8	1/2	5/8	3/4	7/8
線の深さ	22mm	23mm	25mm	27mm	30mm	33mm

※3/4、7/8はスケールをご使用し、マーキングしてください。

5 管を継手へ挿入



管を継手の奥に当たるまで挿入します。
この際、継手端面と標線が一致していれば適正に施工されています。

※管の曲がり、変形、傷、表面に付着物がないことを確認し
継手に挿入してください。



6 確認



標線が目視できない、または管端面と標線がずれている場合は、
適正に施工ができていない可能性があります。

SB1 ワンタッチ継手取外しと再利用について

■ 取外し方



専用のディスコネクト・クリップを使用し取外しを行ってください。
管と継手の接続部にクリップを押し込みながら引き抜くと取外しが行えます。

■ 再利用する場合



継手の内部外部に傷、変形、異物等がないか目視で確認してください。
傷や変形、内部部品の損傷があった際は使用できません。

※取外した管は使用した部分を切断し、新たに施工手順に従い、
施工をしてください。

⚠ 注意事項

施工上の注意事項

- ・本継手は冷媒用銅管の専用継手です。ほかの用途では使用できません。
- ・使用可能な冷媒は、R32、R410A、R407C、R404A、R22です。それ以外の冷媒は使用できません。
- ・適用範囲を確認し、適用範囲外での使用はしないでください。
- ・土中の埋設及び屋外配管はできません。
- ・施工は施工手順通りに行ってください。
 - ※管の面取りが小さいとシール部分（Oリング）を傷つけ漏れの原因になる可能性があります。
 - ※管を継手に挿入する際、管の曲がり、変形、傷がないことを確認し継手に挿入して下さい。
 - ※施工後標線が目視できない、または管端面と標線がずれている場合は適正に施工できていない可能性があります。
- ・本継手の分解は、漏れ、施工不良の原因になりますので絶対にしないでください。
- ・ロウ付けの熱により、継手内部の材料を劣化させる恐れがあります。近傍で溶接する際は、200mm以上の距離を取り、濡れ雑巾などで継手部への熱伝導を防止してください。
- ・継手接続後に継手付近で曲げ加工は漏れの原因になります。必ず継手端面から50mm以上は直線部を確保し、曲げの影響がなく変形等がない状態で施工を行ってください。
- ・既設配管を使用する場合は、銅管表面に付着物がないかを確認し、ある場合は400番以上の研磨布またはエメリー研磨紙などで、銅管の表面が光る程度まで軽く研磨して、付着物を除去してください。
- ・落下などで変形した継手は使用しないでください。
- ・継手の差し込みは銅管と並行な状態で行ってください。斜めからの無理な差し込みは漏れ、施工不良の原因になります。
- ・継手の施工後、接続部に外的負荷がかからないようにしてください。
- ・継手及び周辺配管に適切な保温を設けてください。
- ・再施工時は、専用の工具で銅管を抜き、使用した部分を切り取り、継手本体と銅管を確認し異常がない状態で再施工してください。

保管上の注意事項

- ・炎天下や極寒の場所に放置せず、屋内で保管してください。
- ・溶剤、ペンキなどが継手に付着すると劣化する恐れがあります。保管場所には気を付けてください。
- ・保管場所付近で火の使用はしないでください。熱等で継手が劣化する恐れがあります。
- ・継手内部にゴミ、ホコリが付着する恐れがありますので、使用直前まで梱包から取り出さないでください。

■輸入販売元



TSC株式会社

〒111-0041 東京都台東区元浅草3丁目1番1号
TEL.03-5806-6688 (代) FAX.03-5806-6088
<https://takuhanbai.jp>

■製造元

ESSEN TECH CO.,LTD.

■お問い合わせ・ご用命は